

『専修ビジネス・レビュー』

Vol.10 No.1 刊行のことば

専修大学商学研究所所長

神原 理

専修大学商学研究所では、2006年に設立40周年を記念して『専修ビジネス・レビュー』を創刊した。その前身は、当研究所の設立10周年を記念して創刊された『商学研究所報』で、以来、毎年1号ずつ刊行し、所員等の研究成果を発表する貴重な場として機能してきた。本誌は、『商学研究所報』の伝統を受け継ぎながらも、移り変わりの激しい現代の社会・経済情勢を反映した研究成果なども積極的に取り入れていくことで、商学に関する学術的な情報発信力の強化を図ってきた。

本誌は、創刊以来、特集論文と自由論文で構成する編集方針をとっており、本号（Vol.10 No.1）では、「ビジネス科学の多様なアプローチ」と題した特集テーマを設け、所員による多様な研究アプローチとその成果を掲載している。グローバル化が進むなか、ビジネスの最前線だけでなく、学術的なビジネス研究においても、取り組むテーマや対象はますます多様化し、それにともなって学際的な研究も進んできている。本誌は、そうした近年のビジネス研究の現状を反映した成果となっている。

末尾になるが、貴重な研究成果を本誌に投稿して下さった執筆者各位に敬意を表するとともに、商学研究所の活動に対して様々なご支援・ご協力を頂いている関係諸氏に心から御礼を申し上げたい。

本誌をとおして商学研究所の活動成果が少しでも多くの方々の目に触れることで、学内外での知的交流を促進する機会になればと願っている。

2015年3月